

平成 29 年度

## 十勝地区の巻

事務局 清水町立清水小学校



大津港のジュエリーアイス

十勝小・中校長会は、管内101校（併置校1校）の校長で組織されている。今年度は、採用校長8名の新会員を加え、4月13日に総会を開催し、新役員を選出するとともに、活動方針・予算等を決定し、宝輪新会長の示した「子どものそばに、子どものために」を校長会のテーマとし活動を開始した。

### I 本年度の活動方針

十勝小・中校長会は、日常の教育実践において、子どもの成長の歴史に責任を負うという態度のもとに【校長の教育実践指標】（昭和55年改定）を設定し、会員相互の研鑽に励むとともに、公教育の役割と使命の高揚に努めてきた。そして、創意と工夫に富んだ学校経営と教育活動の推進で、十勝教育の充実・振興に多くの成果を上げてきた。

今日、様々な分野において世界的な構造転換が進む中、東日本大震災以降、これまでの物質的な豊かさを前提にしてきた社会の在り方や人の生き方に変化が現れてきていると言われ、先行きが見えにくい状況にある。学校教育においても、「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び」の実現、小学校段階における外国語教育の改善・充実、「特別の教科道徳」の位置づけ等、教育内容や学校のシステムが、今、確実に変わろうとしている。

各学校においては、従来にも増して「法令遵守・説明責任・情報公開」を基盤に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を中心とする「生きる力」の育成を目指して、特色ある教育活動を展開することが求められている。

このような状況にあって、私たち校長は新しい教育基本法の本質と【校長の教育実践指標】の趣旨を今一度確かめ合い、公教育の使命の下に質の高い教育実践のリーダーとして、主体性と創造性を発揮し、先人が築き上げてきた「十

勝ならではの教育」の継承と管内教育の充実に努めるものである。

そのためには、積極的に研修を進め、情報を共有し、会員相互の連携はもちろんのこと、「十勝はひとつ、すべては子どもたちのために」を合い言葉に、保護者・地域とともに「子どもの確かな育ちの創出」に努める決意である。

### II 活動の重点

- 1 創意工夫に満ちた特色ある学校経営に努める
  - 新学習指導要領を見据えた創意ある教育課程，学校評価，学力・体力調査，学校職員人事評価制度，教頭の職能向上，時間外勤務縮減等
- 2 当面する学校運営上の諸問題の解決に努める
  - 北海道教育振興に基づく調和の取れた学校運営，学校教育指導訪問の充実，関連団体や保護者・地域住民との連携等
- 3 協働体制の確立と信頼関係の深化を図り，組織体としての機能充実に努める
  - 組織改善と効率化，迅速な情報提供と広報活動，教育局・教委連等関係機関との連携強化等
- 4 研修を深め，主体性を確立し，教育上の諸問題の解決に努める
  - 管内研究大会、法制研究会、学力向上、道小研、道中研、全連小研・全日中研、交

通事故・違反等不祥事防止や健康管理の研修, 第18次教育研究3か年計画推進, とちぎスクールリーダー育成研修会開催等

- 5 地域社会・関係機関との連携を強化し教育諸条件の整備に努める
  - 人的・物的条件整備, 特別支援教育の条件整備, いじめ・不登校への対応, 安全確保のための対策等
- 6 待遇改善・福利厚生等の向上を図るため, 情報交換と要望活動の充実に努める
  - 待遇改善, 健康管理・福利厚生, 再任用制度対応等

### III 各部の活動方針

#### 1 研修部

- ① 教育に関わる諸動向を的確に把握し, 研究活動を通して会員の資質向上と教育諸課題の究明・解決に努める。
- ② 町村・方面における研究の充実と推進を図るため, 教育情報を提供するなど, 十勝教育の充実・発展に努める。
- ③ 各種研究大会への積極的な参加促進に努める。

#### 2 経営部

- ① 道小・道中・町村校長会との連携を蜜にし, 組織を充実させる。
- ② 教育現場の経営上の諸問題を組織的に解決する活動を積極的に推進する。
- ③ 教育現場の法制上の問題の研修を深め, 共通理解と職能向上に努める。
- ④ 教育関係機関・団体との連携を深め校長会の取組に対する理解を得て, 十勝教育の発展に努める。

#### 3 対策部

- ① 学校運営上の今日的課題について調査研究を推進し, 学校経営の向上に役立てる。
- ② 各町村の特徴的施策等について資料収集に努め, 条件整備・充実に資する。

③ 会員の健康維持, 福利厚生の実施, 退職校長の福祉の向上に努める。

④ 教育懇談会等の開催を通して, 会員相互の親睦交流に努める。

⑤ 道小・道中・町村校長会及び各町村教育委員会等の関係機関と連携を深め, 業務の円滑な推進に努める。

#### 4 情報部

① 各町村校長会の活動, 研究や実践, 会員の声などの交流を図るとともに, 今日的な動向を踏まえた提言・提唱などを掲載し, 職能の向上に資する。

② 視点を明確にした特集で, 学校経営の考え方や意見を交流し, 経営の質を高める資料の提供に努める。

③ 校長の特色ある教育実践や課題に関わる取組などを広く紹介する。

④ 教育課題などに正対し, 課題の解決に資する内容と構成に努める。

⑤ 道小・道中との連携を密にする。

⑥ 退職校長との紙上交流を図る。

⑦ 情報の迅速な提供と関係資料の適正な収集と保存に努める。

### IV 役員

会 長	宝輪 博継 (清水中)
副 会 長	水野 豊昭 (更別小)
〃	小澤 一記 (士幌町中央中)
事務局 長	山下 勇 (清水小)
事務局 次長	山田 洋 (木野東小)
会 計 長	横山 利幸 (浦幌小)
会 計 次 長	渡會 崇善 (芽室西小)
監 査	佐藤 充弘 (白人小)
〃	寺島 康博 (御影中)
〃	大熊 孝史 (芽室南小)
研 修 部 長	小澤 浩幸 (利別小)
経 営 部 長	塚原 雄二 (屈足中)
対 策 部 長	橋本 靖宏 (糠内中)
情 報 部 長	竹田 義隆 (上美生中)